

「志をもって生き生き生きる」 ～向上・礼節・思いやり～

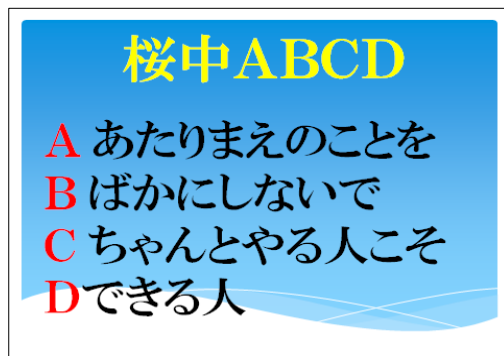
平成 30 年 4 月 10 日 校長 加藤 英優

今年度の桜中は、159名の新入生を迎え、全校生徒451名でスタートを切りました。本校自慢の淡墨桜はすっかり葉桜となってしまいましたが、始業式、入学式に臨む生徒の姿や表情を見ていると、まさに「満開」という言葉がぴったりだと感じました。

さて、機会があるごとに生徒にいつている二つの言葉があります。一つは学校の教育目標である「志をもって生きる」。もう一つは、そのために日々大切にしたいこと「桜中 ABCD」です。（あたりまえのことを、ばかにしないで、ちゃんとやる人こそ、できる人）ありがたいことに、最近では、生徒会や PTA の方々もこうした言葉を大切にしていだけるようになり、大変うれしく思っています。

学校としての規律が高まり、生徒会を中心に生徒の主体的な活動も高まってきているなか、残念なことが一つあります。それは、全国学力学習状況調査等において、自分のよさを自覚できず、自分に自信がないと回答している生徒がやや多め（全国平均との比較）なことです。もっと高い数字が出てもおかしくない生活が十分できていると思うのですが、生徒の自己評価はそうではありませんでした。これは、自己評価が厳しかったり謙虚すぎたりすることが要因にあるのかもしれませんが、しかし、私たちが、生徒一人一人のもつよさを十分に認めたり伝えたりしていないことも大きな要因であるような気がします。

そこで、今年度の最初の職員会で、「自分らしく生き生き生きる」を合い言葉にこの一年間子どもたちと頑張ろうと提案をしました。自分らしさというのは自分のよさを自覚し発揮することです。自分を肯定的にとらえることができれば、自尊感情が高まり、前向きなき持ちで元気に生きていくことができると思います。私たち学校職員と保護者の皆様とが力を合わせ、自分らしく生き生き生きる生徒を育てていきたいと思っています。



生徒会長をはじめとする生徒会役員の生徒たちも、生徒会スローガン「進展」をめざし、熱く意欲的に活動を展開しています。

私たち学校の職員にとって最大の支援は、保護者の皆様にご理解とご協力をいただくことです。今年度も変わらぬお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

